

平成30年度 島根県学力調査結果及び分析・対策(松江市立生馬小学校)

(1) 学力調査結果から見られた傾向

		成果と課題(○:成果、●:課題)	対策
5年	国語	○基礎的な漢字の読み書き、文章の要点をまとめて書くことについての力が身につけている。 ●叙述の工夫や表現の違いを読み解くことに課題がある。	・朝自習時の漢字プリント、定期的な漢字テストを継続する。 ・図書館等を活用し多くの物語と触れ合う機会を作り、表現方法の工夫やその効果について考え合う活動を行っていく。
	算数	○全体的に意欲が高く、基礎的な問題だけでなく応用的な問題を考えることができています。 ●少人数の中で、学力の二極化が顕著になっている。	・基礎プリントと応用プリントを併用して、日常的に問題に取り組む習慣を継続して行えるようにする。 ・授業内外での個別指導を充実させて、苦手意識をなくしつつ基礎的な内容の定着を図っていく。
6年	国語	○関心や意欲が高く、基礎的な力がついている。 ●複数の文章を読み、内容の違いをとらえて簡潔にまとめる力がやや弱い。	・毎日の音読練習、毎月の書き取り会を継続して行う。 ・要点を読み取る練習として、キーワードを見つけるような学習活動をゲーム感覚で行う。長い文章や段落の要点を簡潔に書くという経験を中学年から徐々に増やしていく。
	算数	○関心や意欲は高い。我慢強く問題に取り組もうという力もある。 ●小数や割合の問題がやや弱い。	・ドリル学習やプリント学習を継続的に繰り返し行う。 ・問題を解くときに式を書いて終わりではなくて、図を描いたり説明をしたりすることに重きを置いて指導し、意味理解を図る。

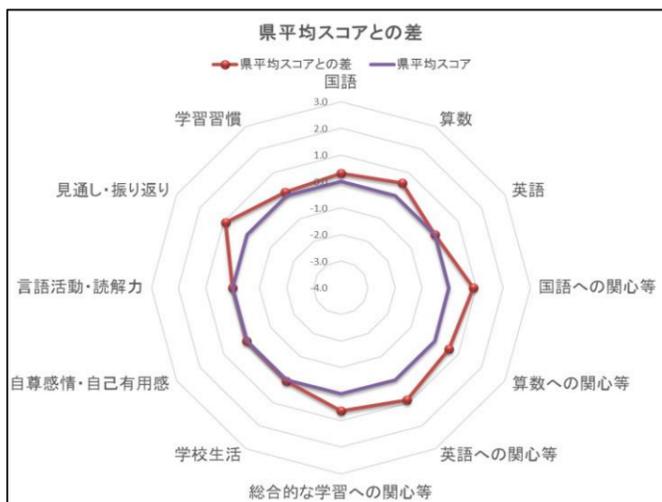
(3) 生活・学習に関する意識調査から見られた傾向

平成31年2月15日

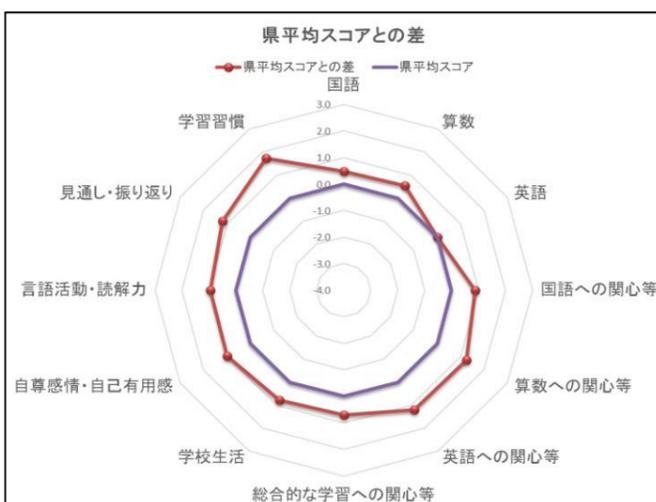
		成果と課題(○:成果、●:課題)	対策
5年	授業改善に関わる事項	○高い学習意欲を持って学習に取り組むことができている。 ●早く解くことはできて、その後の見直しや解きなおしをおろそかにしてしまう部分がある。	・児童が自分が考えたことを根拠を持って説明することができるように、言語活動の充実を図る。 ・しっかり、丁寧に考えることの大切さを伝えながら、考えを全員で深めていく学習の楽しさを感じられるようにする。
	家庭学習に関わる事項	○限られた時間の中で、自分の学習パターンを作りながらきちんと家庭学習に取り組むことができている。 ●自分の課題を進んで改善しようとする学習に取り組む姿勢がまだ弱い。	・月1のまとめテストの期間を利用し、自分の学習を自分で計画する機会についての指導を一層充実させる。 ・自分にあった学習の方法を一人ひとり指導していく。
6年	授業改善に関わる事項	○学習にまじめに最後まであきらめず取り組む力がある。 ○自分の考えを友達に伝えながら、一緒に答えを見つけていく学習過程を好む。 ●間違えたくないという気持ちが強く、発言が消極的になってしまう子もいる。	・引き続き、子どもたちが主体的に学ぶ授業づくり、「めあて」「まとめ」「ふり返し」のある授業作りに努めることにより、子ども達が「分かる喜び」や「できる楽しさ」「一緒に学ぶ喜び」を感じられるようにする。
	家庭学習に関わる事項	○自分で計画を立てながら家庭学習を進める習慣が定着しつつある。 ●読書の量・質ともに物足りない。	・質の高い読書ができるように、図書館司書と連携して選書の指導を行う。 ・自主学習ノートをていねいに指導することにより、学びの意欲が高まるように努める。

(2) 各学年・各教科の調査結果チャート

5年



6年



(参考) 平均正答率

		国語	算数
5年生	本校	68	67
	松江市	63	55
	島根県	63	55

受検者数
5年生 16人

(参考) 平均正答率

		国語	算数
6年生	本校	71	75
	松江市	69	60
	島根県	67	59

受検者数
6年生 14人

各スコアの範囲は-4から+3までで、島根県のスコアは基準値の0となっています。スコアが0より大きければ大きいほど、島根県よりも「当該教科で平均正答率が高かった」、あるいは「当該カテゴリで肯定的回答が多かった」という結果になります。

(4) 生活・学習に関する意識調査の結果

